

新たなまちづくりストーリー

平成29年度垂水市施政方針

施政方針は、その年一年間のまちづくりの方向性や重要施策、予算などの市政運営について、市長が市議会定例会で表明するものです。今月の特集は、平成29年2月17日（金）に行われた平成29年第1回垂水市議会定例会にて、市長が表明した「施政方針」について、その概要をご紹介します。

2月17日
垂水市議会
第1回定例会
の様子



施政方針は議会の壇上で市長が表明します。施政方針の表明は、例年約40分にわたり説明しています。

はじめに

昨年を振り返りますと、まず思い出されることは台風16号災害でございます。平成28年9月20日未明、市内全域に深い爪跡を残しました。改めて、被災された皆様に対しましてお見舞い申し上げます。今回の台風は、幸いに人的被害が発生しませんでした。このことについては、これまでの防災対策と市民の皆様のご理解が深まり行動されたものと受け止めておりますが、やはり自然災害の脅威を改めて認識したところでございます。

さらに身を引き締め、私の政治理念・政治姿勢でございます「安心安全で住んでよかったまちづくり」と「市民の皆様の幸福」を実現できるよう努めてまいります。

私は市長に就任し、2期目3年目を迎えます。市政運営にあたっては、これまでと同様、第一に多くの市民の皆様との対話を重視し現場を大事にしていく

姿勢、第二に様々な情報の積極的な発信と説明責任を果たしていく姿勢、第三にあらゆる場面で私自身が率先して動き、様々な改革に勇気を持って取り組む姿勢を示しながら、これまで培った国や県とのパイプを生かし、市政運営に努めていきたいと考えております。

市長公約 元気な垂水づくり

2期目の公約は、元気な垂水づくり！経済・安心・未来からなる3つの挑戦！でございます。

経済への挑戦については、3つの大きな柱がございます。①水産業、農業の6次産業化を図り、雇用を生み出し、所得向上を図ります。②観光振興に取り組み、交流人口の増加による雇用を生み出し、所得向上を図ります。③地域包括ケアシステムの推進により、医療・介護・福祉の雇用を確保し、所得向上を図ります。

次に安心への挑戦についても3つの大きな柱がございます。①防災対策に取り組み、安心・安全で災害に強いまちを目指します。②地域包括ケアシステムの推進により、いつまでも住み続けられるまちを目指します。③錦江湾横断道路から大隅横断道路ネットワーク構想の推進により基盤の強化を目指します。次に未来への挑戦についても3つの大きな柱がございます。①情報発信に積極的に取り組み、県内外に本市をPRしてまいります。②子どもを育てやすい環境をつくり、子育て世代を応援してまいります。③定住人口対策を進め、にぎわいや元気のあるまちづくりに努力してまいります。

この公約を実現していくために、1期目の取り組みを踏まえ、2期目となるこの4年間で目に見える成果を出せるよう意識して取り組んでまいりたいと考えております。

市長公約

公約 元気な垂水づくり！
経済・安心・未来からなる
3つの挑戦！

経済への挑戦
Economy
1 水産業・農業の6次産業化
2 観光振興による、交流人口の増加
3 医療・介護・福祉の雇用推進

安心への挑戦
Care
1 防災対策による安心・安全の確保
2 地域包括ケアの推進
3 錦江湾横断・大隅横断道路の推進

未来への挑戦
Future
1 積極的情報発信・シティセールス
2 子育て環境の充実と応援
3 定住人口対策による賑わいの創出

政治理念と姿勢

理念1 安心安全で住んでよかったまちづくり

理念2 市民の皆様の幸福

姿勢1 多くの市民の皆様との対話を重視し現場を大事にしていく姿勢

姿勢2 様々な情報の積極的な発信と説明責任を果たしていく姿勢

姿勢3 あらゆる場面で率先して動き、様々な改革に勇気を持って取り組む姿勢